

大阪・関西万博における 福井県独自展示スペース基本計画

<概要版>

令和5年
福井県

大阪・関西万博の
概要

- 名称 2025年日本国際博覧会／（略称「大阪・関西万博」）
- 開催場所 夢洲（大阪府大阪市臨海部）
- 開催期間 2025年4月13日（日曜日）～10月13日（月曜日）184日間

- 来場者数（想定） 約2,820万人

- テーマ いのち輝く未来社会のデザイン “Designing Future Society for Our Lives”

- サブテーマ
 - ・ Saving Lives（いのちを救う）
 - ・ Empowering Lives（いのちに力を与える）
 - ・ Connecting Lives（いのちをつなぐ）

- コンセプト
People’s Living Lab（未来社会の実験場）

- 関西広域連合パビリオンテーマ
いのち輝く関西悠久の歴史と現在



会場パース図（提供：2025年日本国際博覧会協会）

全体テーマ

インパクトあふれる「恐竜」体験をきっかけにして、恐竜時代からの地球活動・気候風土が育んだ美しい自然や豊かな食、個性あふれる歴史・文化、人々の営み等多種多様な福井県の地域資源の魅力への気づきの機会とし、認知度向上・誘客促進につなげます。

いっそうすごい！ふかい！ふくい

～2億年の時を超えて恐竜からはじまる地球と地域のものがたり～

テーマを具現化するためのコンセプト

FUKUI DYNAMIC LAYER

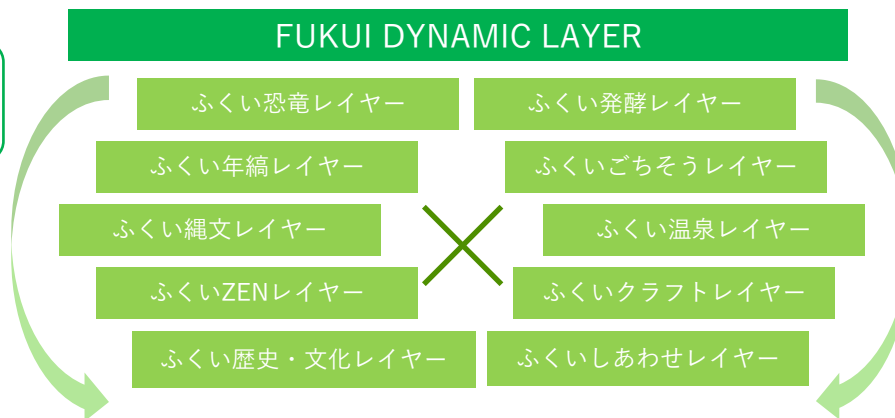
ふくい ダイナミック レイヤー

※レイヤー（層）は福井の深く、多彩な魅力を表現しています。

展開の方向性

万博会場 × 県域各地 取組の相乗効果による認知・誘客を最大化します。

万博機会活用の最大化による
アテンション



県域内におけるレイヤー
ストーリー化

- レイヤーコミュニティ
- レイヤーツーリズム
- クロスレイヤー

レイヤーを合言葉に共感と呼ぶストーリーで福井の深い魅力を伝えていきます。

展示テーマ

「いっそうすごい！ふかい！ふくい」を体感する

ふくいダイナミックレイヤー 超時空地層探検

1

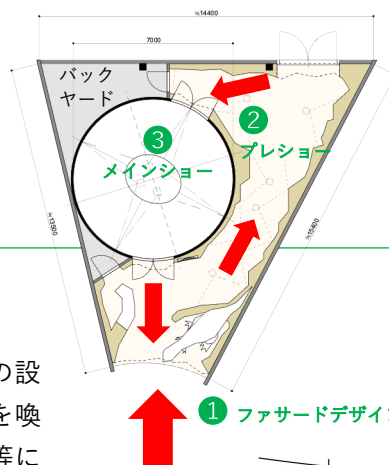
ファサードデザイン

地層から現れた恐竜が期待感を演出

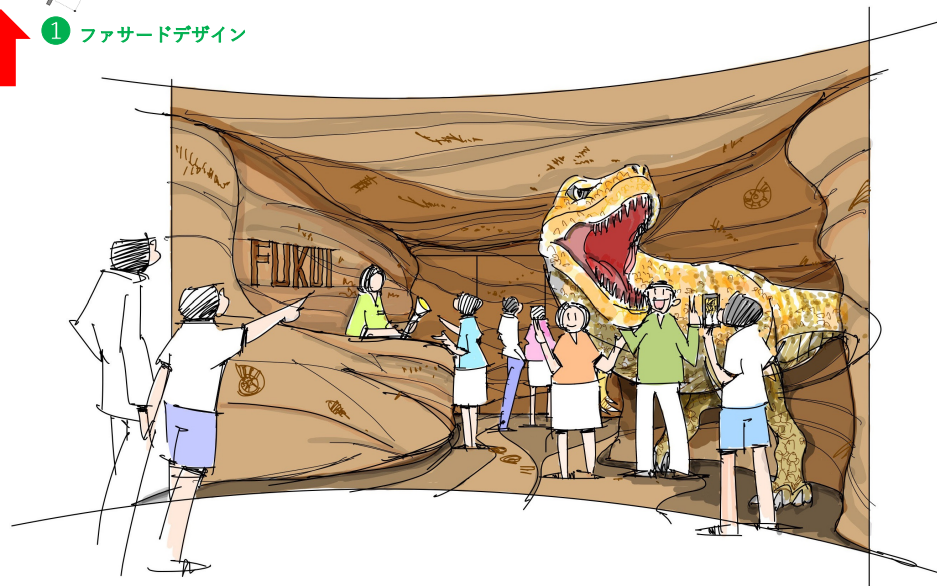
北谷町の手取層群を切り取ったような地層の前面に恐竜模型の設置を計画します。アイキャッチとして機能し来場者の期待感を喚起。フォトスポットとしても活用でき、話題性の創出やSNS等による情報の拡散を図ります。恐竜や地層をデザインに取り入れ、福井県独自の世界観を表し、来場者の誘引を促進します。

現在から白亜紀まで時間を遡りながら福井の歴史・文化を発見する検索体験

白亜紀に至るまで、福井の地中に眠る歴史的遺構や化石を発見する展示体験。展示デバイスを壁面に向けると、それぞれの解説情報が現れる等来場者の興味・関心を高める手法を検討。発見したコンテンツはデバイスに情報が記憶され、蓄積されていく仕組みを計画。



① ファサードデザイン



福井県内各地への誘客を促進します。

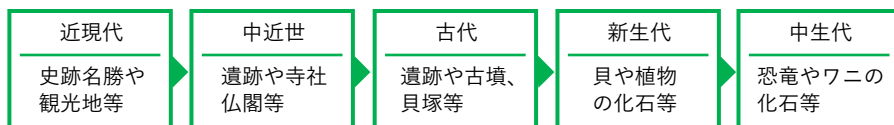
2 プレショー

現在から白亜紀まで時間を遡りながら福井の歴史・文化を発見する検索体験

白亜紀に至るまで、福井の地中に眠る歴史的遺構や化石を発見する展示体験。展示デバイスを壁面に向けると、それぞれの解説情報が現れる等来場者の興味・関心を高める手法を検討。発見したコンテンツはデバイスに情報が記憶され、蓄積されていく仕組みを計画。



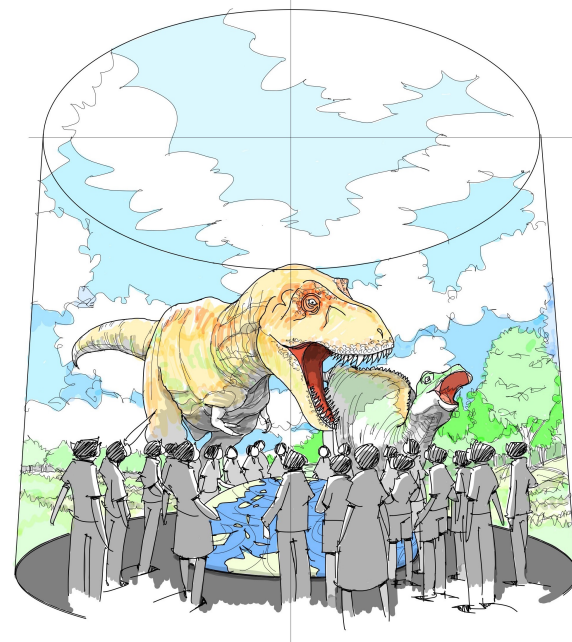
● 展示デバイスで発見するコンテンツイメージ



3 メインショー

恐竜の繁栄と絶滅から未来を見つめる全周型映像空間

白亜紀から現代、そして未来の福井を体感するシアター空間を検討。来場者が持つ展示デバイスと連動して、映像の中の恐竜が反応する等、話題創出につながる仕組みを計画。また、未来に向けた福井県版SDGsの取り組みを発信し、展示体験を通じて環境や未来を考えるキッカケを提供します。また展示体験終了後の入れ替え時間に、福井県の観光資源を映像にて紹介。



● 体験ストーリー（案）



※映像に登場する恐竜CGのバリエーションを複数用意することで、体験する度に異なる恐竜に出会えるような仕組みを検討。

運営計画

運営計画では、万博会場及び、関西パビリオンで定められる諸条件・諸計画を遵守しながら、安全・安心な展示空間を提供し、すべての方に福井県の魅力を最大限に体感していただける運営計画を個別に検討する。

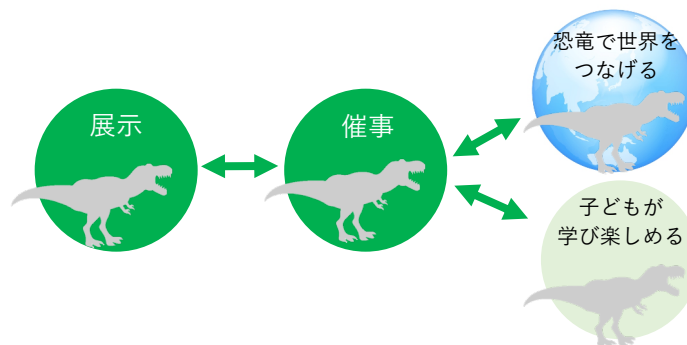
●運営個別計画



全ての世代が楽しめ、
幸福度No.1福井の「幸せ・安心」を感じる、
おもてなし運営を実現

催事計画

福井県の認知向上、誘客促進につなげることを目的に福井県独自の地域資源である「恐竜」を活用した催事計画を検討します。福井県の先進的な恐竜研究成果を踏まえたコーディネートで万博と世界を恐竜でつなぐとともに、子どもたちが恐竜を学び楽しめる催事を計画します。また催事では県域と会場をICTを活用してつなげることで体験型イベントの実施を検討します。



●各催事内容（案）について

- ① 世界恐竜イベント
- ② 恐竜ワークショップ・VR恐竜世界体験
- ③ 万博会場と福井県を繋ぐリアルコミュニケーション体験
- ④ 福井県内と万博会場の連動企画催事

※上記、催事計画（案）は万博会場内に設けられる各催事会場の利用計画について、スケジュール等も未確定のため、詳細が決定後に内容を含め再度検討するものとします。

ロードマップ

令和4年度から令和8年度以降まで下記スケジュールで検討します。

	令和5年度（2023年度）	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度以降（2026年度）
関西パビリオン	パビリオン建設		万博開催	レガシーの活用
福井県	展示設計	展示制作・工事		